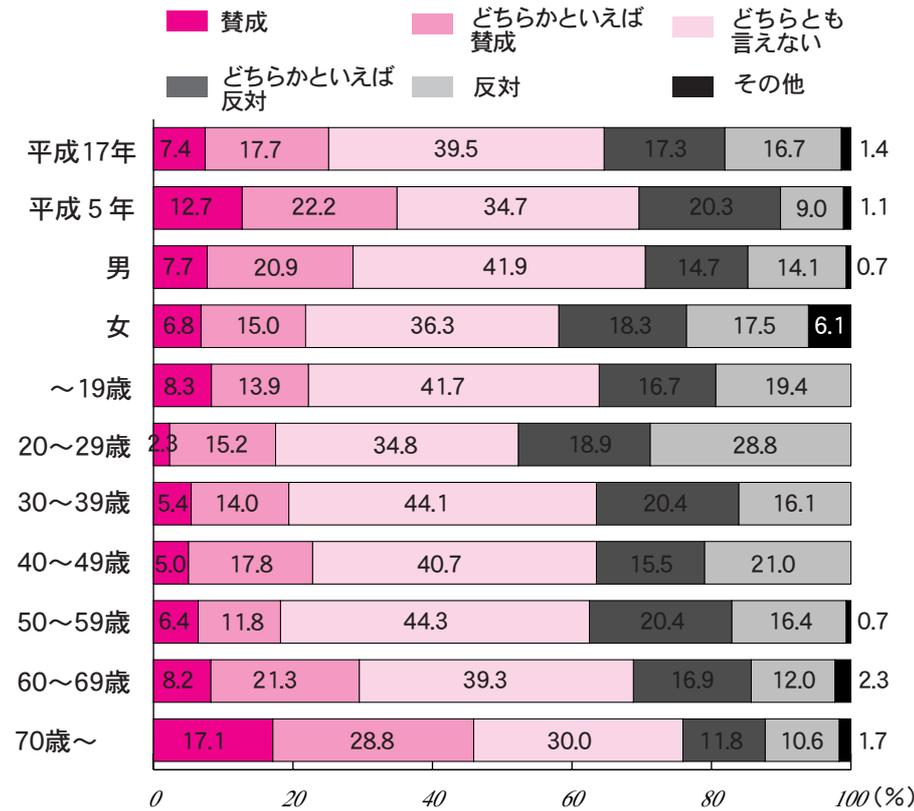


「男は仕事、女は家庭」の意識

問：「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成ですか？



市では、平成17年度までとされている「都留市女性プラン」の後を受け、平成18年度から始まる「新男女共同参画推進プラン(仮称)」の策定に取り組んでいます。その一環として本年1月に実施した市民意識調査の概要がまとまりましたので、今月号と来月号に分けて報告します。

まず、「男は仕事、女は家庭」という考え方(左図)については、賛成派(賛成7.4%+どちらかといえば賛成17.7%)が25.1%に対し、反対派(反対16.7%+どちらかといえば反対17.3%)は34.0%と多くなっており、前回の平成5年の調査時点の割合(賛成派34.9%、反対派29.3%)が逆転しています。これは、性的役割分業意識が変わってきていることを示しています。

ただし、年齢別では、依然として年齢が高いほど性的役割分業意識が強いことがうかがえます。

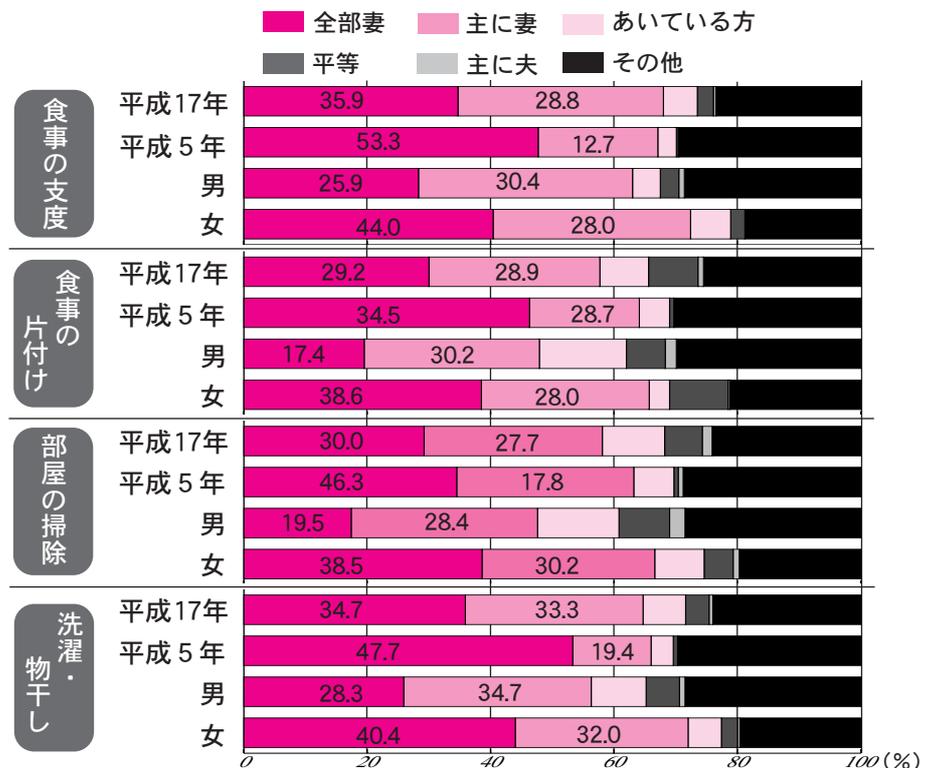
夫が思うほど貢献していると妻は思っていない

問：家事は主に誰がしますか？

前回調査と比較して夫と妻で家事を分担する傾向が強くなっていますが、「全部妻」とする女性側の答えが、男性側の答えの1.5倍～2倍になっていることから、男性の家事への貢献度はアップしているものの、男性が思うほど女性には感じられていないことがうかがえます。

調査の概要

- ・調査地域：市内全域
- ・調査対象：満16歳以上(含外国人登録者)
- ・抽出方法：無作為2,000サンプル
- ・調査方法：郵送配布、郵送・訪問回収
- ・調査期間：H17.1.7～1.25
- ・回収率：65.6%

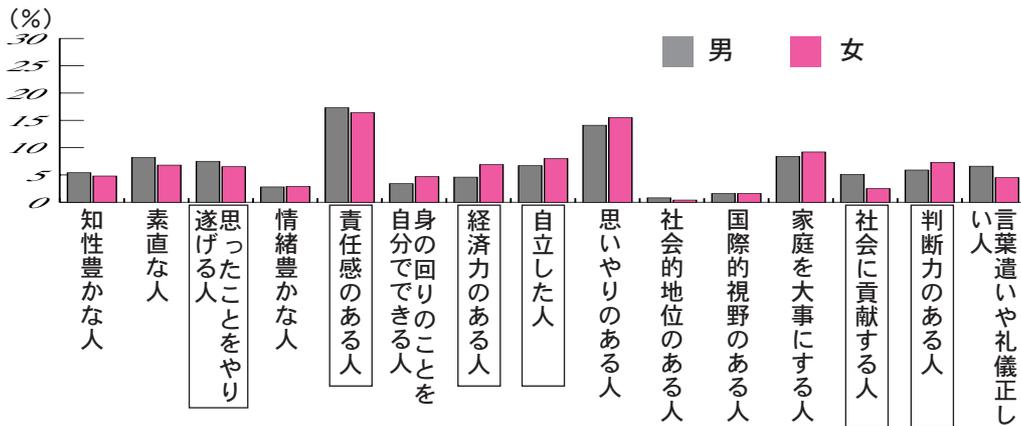


変わる「男は仕

性別で異なる「期待する子ども人間像」

問：あなたのお子さんにどのような人になってほしいと思いますか？

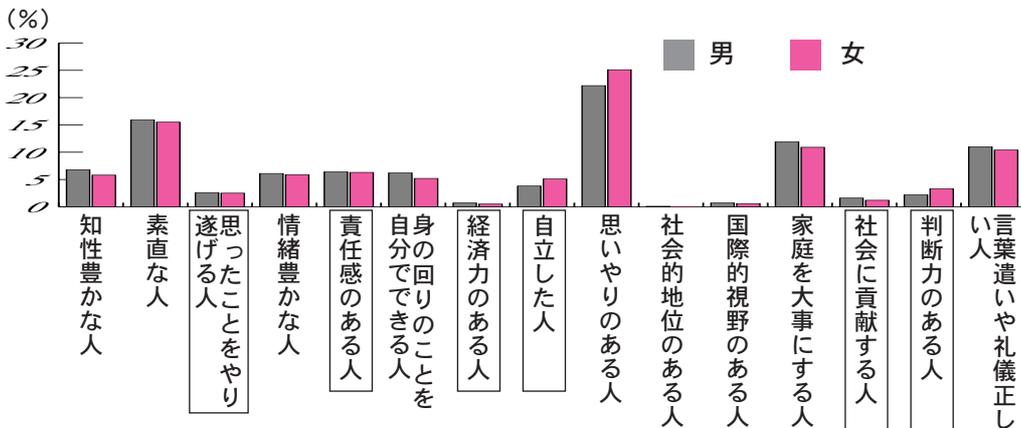
【男子の場合】



「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしくしつけた方がよい」という考え方は、「賛成する」は36.4%「どちらかといえば賛成する」が45.5%あり、2つ合わせると81.9%が肯定的に見ています。平成5年調査時は肯定派は87.3%で、今回はわずかに減少しました。

「期待する子ども人間像」では、「思いやりのある人」「素直な人」になってほしい思いは共通していますが、男子の場合には「責任感のある人」「思ったことをやり遂げる人」「自立した人」などが多いのに対し、女の子の場合には同じ項目がいずれも男子の場合よりも低くなっています。

【女子の場合】



男性の方が意識する職場での「不平等」

職場での悩みや不満は、「給料が安い」(32.7%)「人間関係」(27.6%)「休みが取れない」(19.4%)の順になっており、男女とも共通していますが、女性で「男女差別」に悩みや不満を感じている(いた)と回答したのは8.3%と低い比率になっています。

職場での男女不平等の有無(右図)については、「かなりある(あった)」(12.8%)「ややある(あった)」(30.0%)で、前回調査よりも増加しています。

また、男性のほうが「ある(あった)」と答えた人が多いのが注目されることです。

問：あなたの職場では男女間に不平等がありますか？

